

2017年3月16日  
一般社団法人 日本電機工業会(JEMA)

## 2017年度 電気機器の見通し

一般社団法人 日本電機工業会(JEMA)では、2017年度 電気機器の見通しを取りまとめましたので、以下のとおりご報告いたします。

### 1. 電気機器の状況

#### (1) 2016年度の状況

2016年度の世界経済は、年度の初めは中国を中心とする新興国経済や米国経済の停滞がみられましたが、夏頃からは、中国経済の各種政策効果による持ち直しや米国の景気加速を受け、回復しました。日本経済については、個人消費は横ばいが続いたものの、外需や設備投資に支えられ、年度を通して安定して推移しました。

重電分野では、国内の電力向けが堅調に推移した他、下期には中国を中心とするアジア向け輸出が回復しました。白物家電分野は、天候不順の影響がややみられたものの、消費者の新たなニーズを捉えた製品が堅調に推移しました。

このような中、2016年度の重電・白物家電機器を合わせた電気機器の国内生産は、5兆4,332億円、前年度比102.2%となる見込みです。また、白物家電機器の国内出荷は、2兆2,948億円、前年度比102.1%となる見込みです。

#### (2) 2017年度の見通し

2017年度の世界経済は、欧州を中心とする政治動向によって下押しされるリスクがあるものの、基本的には回復局面が続くとみられています。加えて、インフラ投資や大型減税などの政策により、米国の景気拡大が期待されます。日本経済についても、世界経済の回復を受け、外需や設備投資を中心に緩やかな成長が続くとみられています。

重電分野では、引き続き、国内電力向けの堅調な推移や、世界経済の緩やかな回復による需要増が期待されます。白物家電分野は、緩やかに国内景気が回復する中、高機能、高付加価値製品等、消費者ニーズに応える製品への買替え需要を主体に、堅調に推移するとみています。

このような中、2017年度の重電・白物家電機器を合わせた電気機器の国内生産は、5兆6,558億円、前年度比104.1%と、ここ10年では高水準となる見通しです。また、白物家電機器の国内出荷は、2兆3,037億円、前年度比100.4%となる見通しです。

【表1】電気機器の2016年度実績見込みと2017年度見通し

		2016年度実績見込み		2017年度見通し	
		金額 (億円)	前年度実績比 (%)	金額 (億円)	前年度実績 見込比(%)
国内 生産	重電機器	35,564	102.3	37,845	106.4
	白物家電機器	18,768	102.0	18,713	99.7
	電気機器合計	54,332	102.2	56,558	104.1
白物家電機器国内出荷		22,948	102.1	23,037	100.4

備考1: 国内生産の実績見込み・見通しは、経済産業省 生産動態統計をベースにJEMAが策定しました。

備考2: 白物家電機器の国内出荷の実績見込み・見通しは、JEMA 統計、日本冷凍空調工業会 統計をベースに、JEMA が策定しました。

備考3: 端数四捨五入のため、積上げ値と合計値が一致しない場合があります。

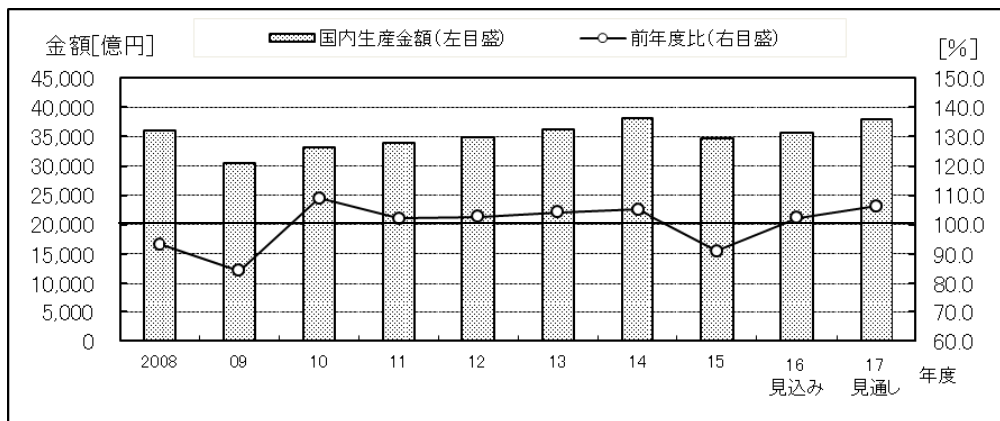
## 2. 重電機器分野

【表2】重電機器の国内生産 2016年度実績見込みと2017年度見通し

	2016年度実績見込み		2017年度見通し	
	金額 (億円)	前年度実績比 (%)	金額 (億円)	前年度実績 見込比(%)
<b>発電用原動機</b>	<b>4,841</b>	<b>102.6</b>	<b>6,128</b>	<b>126.6</b>
ボイラ	1,249	68.7	2,491	199.4
蒸気タービン	2,518	112.0	2,543	101.0
ガスタービン	1,074	164.6	1,094	101.8
<b>回転電気機械</b>	<b>9,285</b>	<b>104.9</b>	<b>9,572</b>	<b>103.1</b>
うち、交流発電機	988	109.8	937	94.8
うち、交流電動機	3,385	105.8	3,529	104.3
うち、サーボモータ	957	102.9	1,019	106.5
<b>静止電気機械器具</b>	<b>7,472</b>	<b>100.5</b>	<b>7,657</b>	<b>102.5</b>
うち、変圧器	2,423	106.4	2,452	101.2
うち、電力変換装置	4,263	96.2	4,454	104.5
<b>開閉制御装置</b>	<b>13,965</b>	<b>101.6</b>	<b>14,489</b>	<b>103.7</b>
うち、閉鎖形配電装置	2,285	105.2	2,221	97.2
うち、監視制御装置	2,108	93.8	2,365	112.2
うち、低圧開閉器・制御機器	4,619	109.1	4,783	103.6
<b>重電機器合計</b>	<b>35,564</b>	<b>102.3</b>	<b>37,845</b>	<b>106.4</b>

備考1: 実績見込み・見通し値は、経済産業省 生産動態統計をベースに、JEMA が策定しました。

2: 端数四捨五入のため、積上げ値と合計が一致しない場合があります。



【図1】重電機器の年度別国内生産額推移

### (1) 2016年度の国内生産実績見込み

2016年度の国内生産は、3兆5,564億円、前年度比102.3%となる見込みです。

発電用原動機は、4,841億円、前年度比102.6%と増加する見込みです。国内電力向けが中心となり、蒸気タービン、ガスタービンは増加となります。ボイラは生産が低水準であり減少する見込みですが、国内電力向けを中心に、手持ち受注を確保しています。

回転電気機械は、9,285億円、前年度比104.9%と増加する見込みです。交流発電機は国内電力向けを中心に増加となり、交流電動機やサーボモータは下期より中国を中心としたアジアにおける設備投資の持ち直しの動きを受け、増加となる見込みです。

静止電気機械器具は、7,472億円、前年度比100.5%と前年度並みとなる見込みです。変圧器は国内電力向けを中心に増加となりますが、電力変換装置は国内における太陽光発電設備向けパワーコンディショナーの低調により、減少となる見込みです。

開閉制御装置は、1兆3,965億円、前年度比101.6%と増加する見込みです。閉鎖型配電装置は2020年東京オリンピック・パラリンピック開催を見据えた大都市再開の動きにより、また、低圧開閉器・制御機器は産業向けプログラマブルコントローラの回復が主体となり増加となる見込みです。一方、監視制御装置は電力向けや製造業向けの需要の回復が遅れており、減少となる見込みです。

(2)2017年度の国内生産見通し

2017年度の国内生産は、3兆7,845億円、前年度比106.4%となる見通しです。

発電用原動機は、6,128億円、前年度比126.6%と増加する見通しです。

蒸気タービン、ガスタービンは、前年度に引き続き、国内電力向けを中心に増加する見通しです。また、ボイラは、国内電力向けを中心に生産が高水準となり、大幅に増加となる見通しです。

回転電気機械は、9,572億円、前年度比103.1%と増加する見通しです。交流発電機は海外向けを中心に減少となりますが、交流電動機やサーボモータは、世界経済の緩やかな回復により、増加となる見通しです。

静止電気機械器具は、7,657億円、前年度比102.5%と増加する見通しです。変圧器は前年度に引き続き国内電力向けを中心に増加となり、電力変換装置は国内電力や鉄道向けの大型案件が好調となり増加する見通しです。

閉鎖制御装置は、1兆4,489億円、前年度比103.7%と増加する見通しです。閉鎖型配電装置は減少となるものの、2014年度以降の高水準を維持します。また、監視制御装置は電力向けや製造業向け需要の伸びにより増加となり、低圧開閉器・制御機器は、産業向けのプログラマブルコントローラが好調を維持し、増加となる見通しです。

[参考] 受注形態別の重電機器 2017年度の生産見通し

2016年度は、受注生産品の国内電力向けを中心とした堅調な動きや、産業用汎用電気機器の中国を中心としたアジア向け輸出回復の動きにより、増加する見込みです。2017年度は、受注生産品、産業用汎用電気機器ともに、前述の要因に加え世界経済の緩やかな回復により、増加する見通しです。

【表3】重電機器の国内生産 2016年度実績見込みと2017年度見通し(受注形態別)

	2016年度実績見込み		2017年度見通し	
	金額 (億円)	前年度実績比 (%)	金額 (億円)	前年度実績 見込比(%)
<b>受注生産品*1</b>	<b>15,310</b>	<b>102.2</b>	<b>16,850</b>	<b>110.1</b>
発電用原動機	4,841	102.6	6,128	126.6
発電用原動機以外	10,468	102.1	10,722	102.4
<b>産業用汎用電気機器*2</b>	<b>13,314</b>	<b>102.5</b>	<b>13,860</b>	<b>104.1</b>
その他の重電機器*3	6,940	102.3	7,135	102.8
<b>重電機器合計</b>	<b>35,564</b>	<b>102.3</b>	<b>37,845</b>	<b>106.4</b>

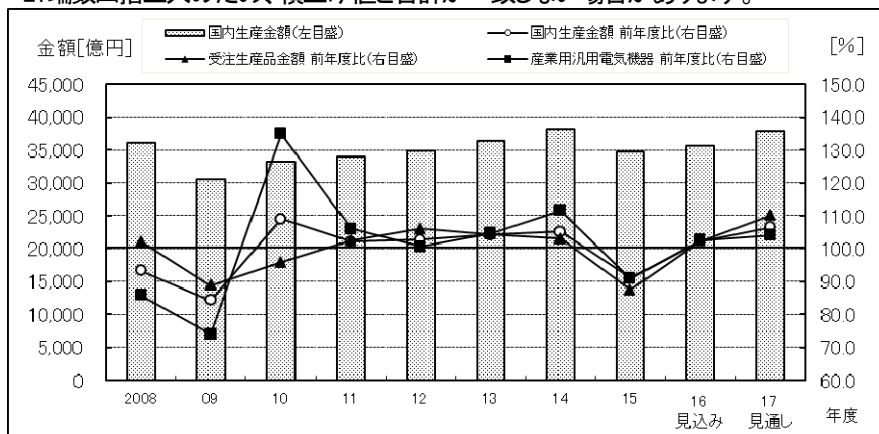
\*1 受注生産品:発電用原動機(蒸気・ガスタービン等)、発電機、大容量変圧器等。電力及び産業(自動車、鉄鋼等)向けの電気設備。

\*2 産業用汎用電気機器:汎用インバータ、サーボモータ、プログラマブルコントローラ等。需要先が多岐にわたる、主に標準仕様で生産する量産品。流通は代理店経由が多い。

\*3 その他の重電機器:電気炉、電気溶接機、分電盤等。機器としては受注生産品または産業用汎用電気機器であるが、データとして分類できない機器。

備考1:実績見込み・見通しは、経済産業省 生産動態統計をベースに、受注形態別にJEMAが策定しました。

2:端数四捨五入のため、積上げ値と合計が一致しない場合があります。



【図2】重電機器の年度別国内生産額推移(受注形態別)

### 3. 白物家電機器分野

#### 3.1 国内出荷の状況

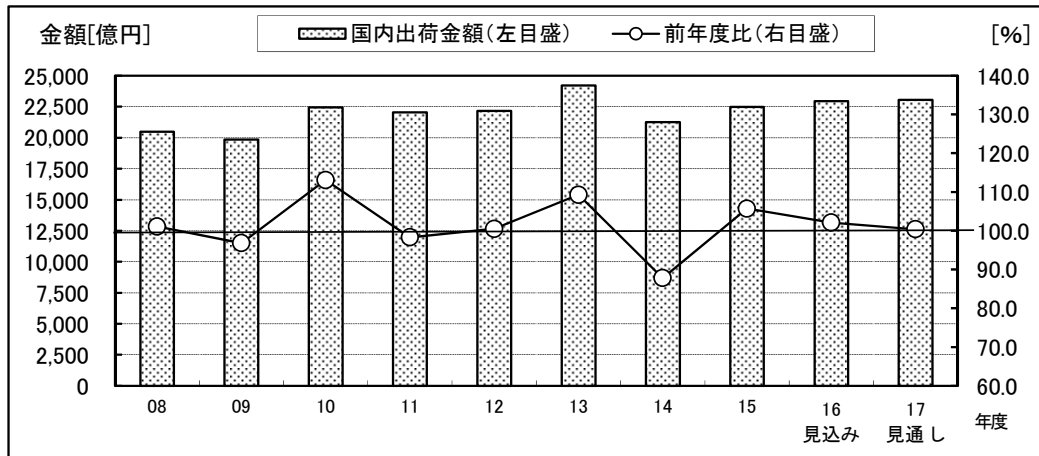
【表4】白物家電機器の国内出荷 2016年度実績見込みと2017年度見通し

	2016年度実績見込み		2017年度見通し	
	金額 (億円)	前年度実績比 (%)	金額 (億円)	前年度実績 見込比(%)
ルームエアコン	6,716	99.9	6,616	98.5
電気冷蔵庫	4,252	100.6	4,305	101.2
電気洗濯機	3,189	108.2	3,252	102.0
電気掃除機	1,089	101.4	1,091	100.3
ジャー炊飯器*	1,241	97.7	1,238	99.8
その他(上記5品目以外)	6,461	102.4	6,535	101.1
白物家電機器合計	22,948	102.1	23,037	100.4

\*ジャー炊飯器:保温機能(ジャー)がついた電気炊飯器。おかゆ兼用ジャー炊飯器を含む。

備考1:実績見込み・見通しは、JEMA 統計、日本冷凍空調工業会統計をベースに、JEMA が策定しました。

2:端数四捨五入のため、積上げ値と合計値が一致しない場合があります。



【図3】白物家電機器の年度別国内出荷額推移

#### (1) 2016年度の国内出荷実績見込み

2016年度の国内出荷は、2兆2,948億円、前年度比102.1%と2年連続で前年度を上回る見込みです。

主要製品別にみると、天候不順の影響がややみられたルームエアコンが 99.9%、電気冷蔵庫も 100.6%と前年度並みの見込みです。一方、まとめ洗い、大物洗いの消費者ニーズにより注目を浴びた電気洗濯機は 108.2%、電気掃除機も 101.4%とたて型タイプの利便性が新たな消費者ニーズを捉え、堅調の見込みです。なお、前年度のインバウンド需要により好調であったジャー炊飯器は 97.7%との見込みで、一服感がみられます。

#### (2) 2017年度の国内出荷見通し

2017年度の国内出荷は、2兆3,037億円、前年度比100.4%と3年連続で前年度より増加する見通しです。

国内の緩やかな景気回復とともに、消費者ニーズはさらに省エネ性能、高機能、高付加価値製品に向かうことが期待されますが、白物家電機器は買替え需要を主体としていることから大きな変化はなく、前年度並みの水準を維持する見通しです。主要製品別にみると、ルームエアコンは天候を平年並みとみて 98.5%、電気冷蔵庫は 101.2%、電気洗濯機は 102.0%、電気掃除機は 100.3%、ジャー炊飯器も 99.8%と前年度並みの水準を維持する見通しです。

### 3.2 国内生産の状況

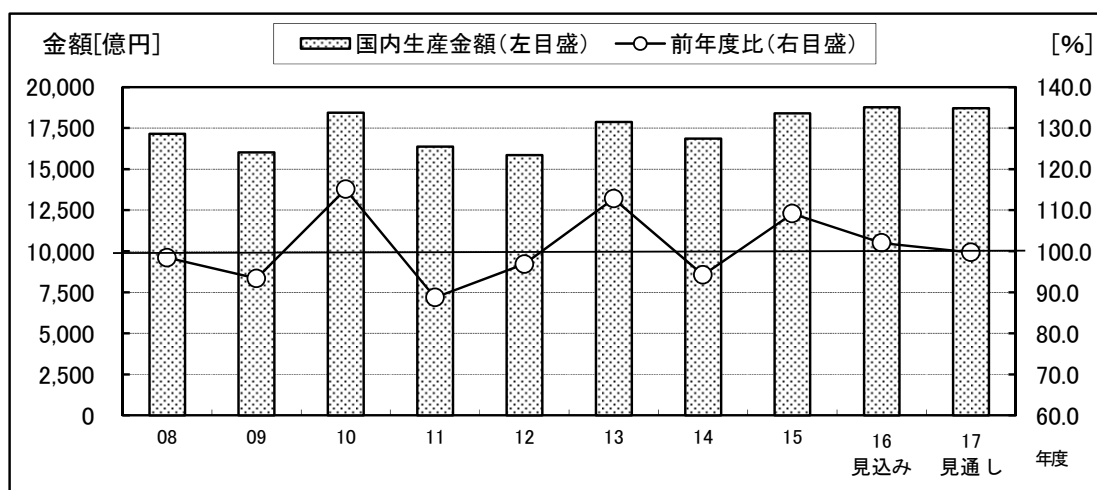
【表5】白物家電機器の国内生産 2016年度実績見込みと2017年度見通し

	2016年度実績見込み		2017年度見通し	
	金額 (億円)	前年度実績比 (%)	金額 (億円)	前年度実績 見込比(%)
ルームエアコン	5,614	100.2	5,478	97.6
電気冷蔵庫	2,692	98.9	2,718	101.0
電気洗濯機	708	117.5	749	105.7
電気掃除機	410	106.8	420	102.3
電気がま*	846	97.0	845	99.8
その他(上記5品目以外)	8,497	103.5	8,504	100.1
白物家電機器合計	18,768	102.0	18,713	99.7

\*電気がま:ジャー機能(保温機能)のないものも含む。

備考1:実績見込み・見通しは、経済産業省 生産動態統計をベースに、JEMA が策定しました。

2:端数四捨五入のため、積上げ値と合計値が一致しない場合があります。



【図4】白物家電機器の年度別国内生産額推移

#### (1) 2016年度の国内生産実績見込み

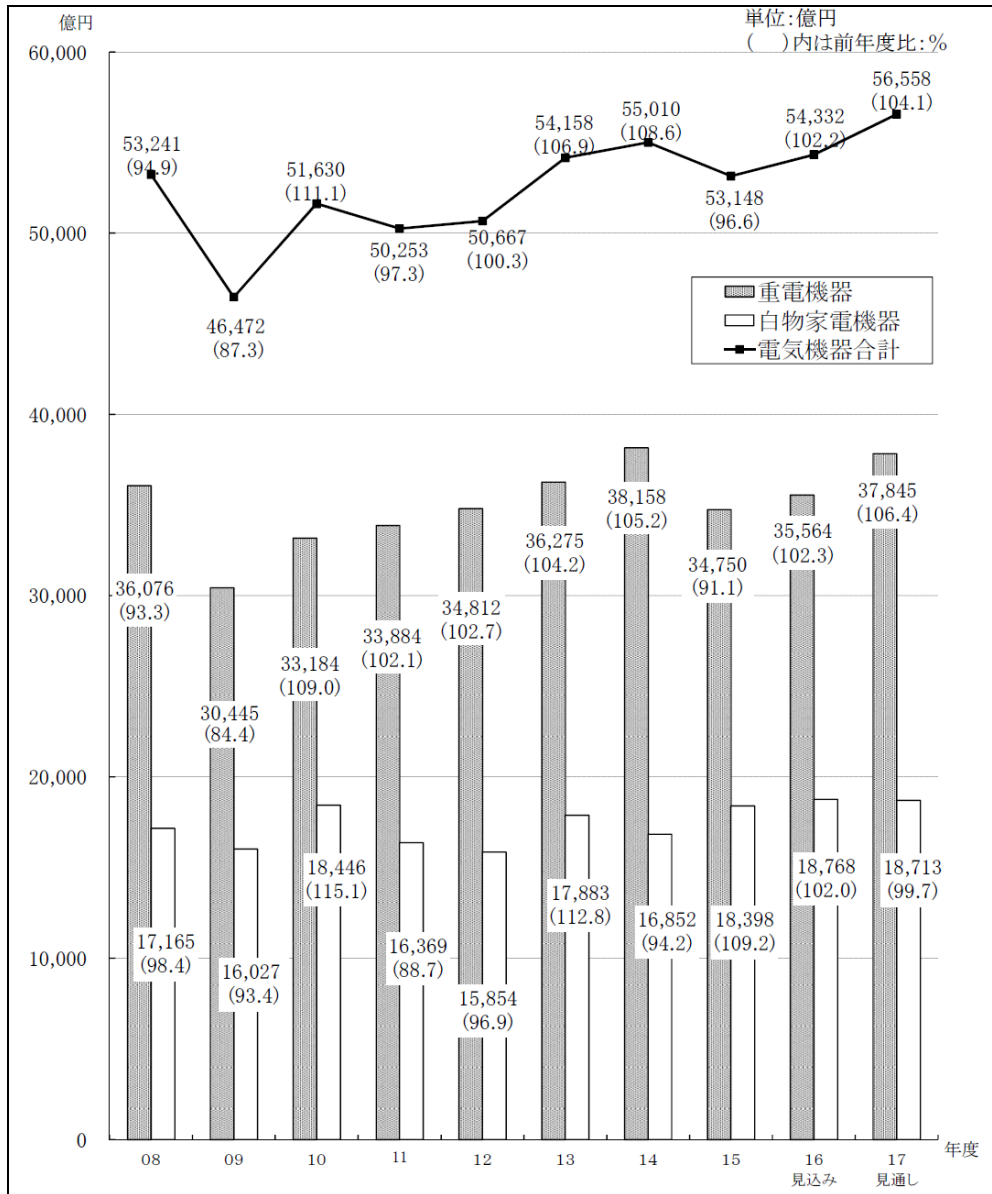
2016年度の国内生産は1兆8,768億円、前年度比102.0%と、2年連続で前年度を上回る見込みです。

主要製品別にみると、ルームエアコンが100.2%、電気冷蔵庫が98.9%と前年度並み、電気がまが97.0%と前年度を下回ったものの、電気洗濯機が117.5%、電気掃除機が106.8%と増加する見込みです。

#### (2) 2017年度の国内生産見通し

2017年度の国内生産は、1兆8,713億円、前年度比99.7%と、前年度並みの水準を維持する見通しです。

ここ数年、消費増税前後の需要増や反動減、円安基調に対応した一部機種の内国回帰の動きなどがありましたが、2017年度の国内生産は大容量製品や高性能、高付加価値製品を主体に堅調に推移する見通しです。



【参考】電気機器の年度別国内生産額推移

本資料に関する弊社お問い合わせ先

〔重電機器〕 TEL:03-3556-5885 FAX:03-3556-5890  
重電部(調査統計課 市村・角田・川端)

〔家電機器〕 TEL:03-3556-5887 FAX:03-3556-5891  
家電部(調査統計課 宮内・高橋)

URL : <http://www.jema-net.or.jp/>